

「新型コロナウイルス感染症に伴う集中治療後症候群の研究」に 関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度、国立病院機構東京医療センター救急科では、「新型コロナウイルス感染症に伴う集中治療後症候群の研究（**Post-Intensive Care outcomeS of Patients with COronaVirus Disease 2019; PICS-COVID study**）」の研究を行うことになりました。

この研究の目的は、コロナウイルスに感染し集中治療室に入室した患者さんの身体機能、認知機能、精神の障害を調べて、コロナウイルスが重症患者の長期予後にどのような影響を及ぼすかを明らかにすることです。

この研究のため、2020年3月より2021年3月末までに治療した方の診療録、検査データの調査を行います。また、ICU退室6ヶ月後、1年後、2年後に身体機能、認知機能、精神に関するアンケート用紙を事前に電話連絡した上で郵送致しますのでご協力をお願い致します。対象となるのは集中治療室で人工呼吸管理以上の治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報である病名、治療経過のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2020年11月

研究責任者

東京医療センター 救急科 島山淳司

連絡先 03-3411-0111(代表)